

あけましておめでとーぐーぐーいす



伊賀市長
岡本 栄

あけましておめでとーございます。皆さんには、穏やかな良き年を迎えられたことと存じます。

平成24年11月21日から伊賀市政を担わせていただき、はや3年が経過しました。庁舎整備、校区再編、地域医療問題など、多くの課題が山積する中、「ムダのない財政」を指針とし、「医療の再生」「観光・農林業の再生」を重要施策として、市民目線、市民感覚で、分かりやすく公平で透明性のある、地域に偏りのない市政を推進してきました。

直面するさまざまな問題と向き合いながら、少子高齢化や人口減少、地域経済の低迷といった社会経済情勢の急激な変化にも対応していくため、第2次伊賀市総合計画（基本構想・再生計画）を策定しました。将来の財政状況を考慮し、*プライマリーバランスを保ちながら、財政基盤の確立や、市庁舎、消防庁舎の建設など、施策の推進に取り組んでいるところであります。

昨年は、市政百年の大計の元年と位置づけ、「動」の年として、あらゆる面で積極的に動きました。6月には「ミラノ国際博覧会」へ出展したほか、10月、11月には東京で「伊賀の食材

フェア」や「伊賀上野NINAフェスタin上野恩賜公園」などを開催し、トップセールスで伊賀の魅力を国内外へ情報発信しました。7月から10月にかけては、市内39カ所で「市長と語る会」を開催し、市民の皆さんが地域について普段から思うことを聴かせていただきました。

また、9月には、人口減少社会に対応すべく、第3子以降の保育料無料化と中学生以下の子ども医療費の無料化の実施、子育て支援基金の設置など、安心して子どもを生み育てやすい環境整備にも取り組んだところであります。

さらに、10月には、急速な少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけ、引き続き活力のある社会を維持していくために、「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取り組みをスタートさせました。

市長就任4年目を迎え、総決算の年として、これまでの取り組みを踏まえながら、総合計画に掲げた将来像「ひとが輝く、地域が輝く」伊賀市の実現に向け、引き続き勇気と覚悟を持って、「伊賀市の再生」に全力で取り組んでいく所存です。

依然として、厳しい財政状況の中ですが、公共施設最適化を進めるとともに、伊賀市の賑わい創出に向けた議論を通して、安心安全で活力のあるまちを市民の皆さんとともに築いていきたいと考えています。実現に向けて、昨年同様、理解と協力をお願いいたします。

***プライマリーバランス** 市債などの借金を除いた歳入と、過去の借金の元利払いを除いた歳出の差（バランス）のこと。

※市長などの公職にある者は、公職選挙法により年賀状などのあいさつ状を出すことが禁止されていますので、本紙上をもって年賀のごあいさつに代えさせていただきます。

豊かな自然から生まれる
おいしい農産物が自慢です。



好きなことを見つけて
自分の時間を楽しみたい
上田 佳子さん
(地区市民センター職員)
昭和 31 年 生まれ・霧生

上野公園が好きです。
散策すると、伊賀の歴史を感じられ、
穏やかな気持ちになれます。



日本語をもっと勉強したい
自転車で伊賀市を巡りたい
サンダーソン・アランさん
(ALT [外国語指導助手])
平成 4 年 生まれ・新堂

西柘植小学校のほのぼのとした
雰囲気やたたずまいなど、
昔から変わらない姿が好きです。



現状よりも
一歩前に踏み出したい
高島 正司さん (理容師)
昭和 43 年 生まれ・下柘植

大好きな果物がいつでもおいしく
食べられることが幸せです。



みんなと仲良く
健康に暮らしたい
米村 艶子さん (無職)
大正 9 年 生まれ・上野池町

酒・肉・米、全ておいしいです。
人が温かいのも魅力です。



仕事もプライベートも
充実させたい
インドネシア語を勉強したい
清水 明日香さん (会社員)
昭和 55 年 生まれ・上野車坂町

地元でとれるおいしい伊賀米が自慢です。



体の健康を維持し、
地元で与えられた役割を
しっかりと果たしたい
城 征衛さん (無職)
昭和 19 年 生まれ・上友田

ご協力いただき、ありがとうございます。
皆さんにとって、実り多き一年となりますように…

申^{さる}年の皆さんに伺いました
今年の抱負、あなたにとつての伊賀じまんは何ですか？



毎年見に行く上野天神祭の
鬼行列がおもしろくて大好きです。



これからももっと
サッカーを頑張りたい
南畑 魁星さん (小学生)
平成 16 年 生まれ・島ヶ原

山を背負い、田に囲まれた炊村は
最高の住まいで、私の誇りです。



友人に囲まれながら楽しく
健康な毎日を送りたい
東 千代さん (無職)
昭和 7 年 生まれ・炊村